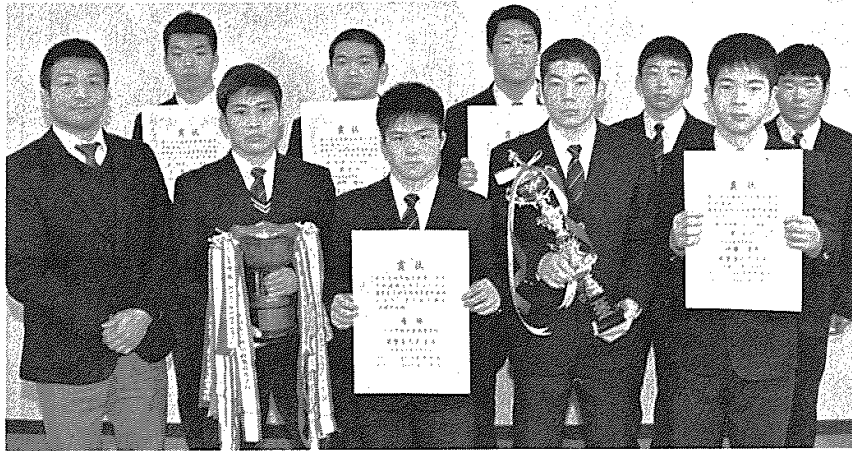


東北高校選抜レスリング 光星 学校対抗10年ぶりV



総力戦で栄冠つかむ

八戸

東北レスリング協会
などが主催する第58回

高松宮杯東北高校選抜レスリング大会(2、3日・秋田県)に出場した八戸学院光星高が、

学校対抗戦で10年ぶりに頂点に立った。3月27日に新潟市で開かれる全国大会への出場も決めた選手は、「優勝を目指す」と意気込んでいる。
(金濱千優希)

来月に全国大会「優勝目指す」

7日、同校レスリング部が八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、結果を報告した。学校対抗戦では、選手が7階級それぞれに出場して対戦し、勝利数によって勝敗を決す。同校は、選手のけがの影響で、1階級を欠く不利な状況での戦いとなった。それでも12回戦では、最重量126kg級の濱田浩暉選手(2年)が3勝3敗の場面から、2試合連続で白星を飾り、勝ち上がる立役者となった。ほか、決勝では、80kg級の川市竜之介選手(同)が、ライバルに

7日、同校レスリング部が八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、結果を報告した。学校対抗戦では、選手が7階級それぞれに出場して対戦し、勝利数によって勝敗を決す。同校は、選手のけがの影響で、1階級を欠く不利な状況での戦いとなった。それでも12回戦では、最重量126kg級の濱田浩暉選手(2年)が3勝3敗の場面から、2試合連続で白星を飾り、勝ち上がる立役者となった。ほか、決勝では、80kg級の川市竜之介選手(同)が、ライバルに

7日、同校レスリング部が八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、結果を報告した。学校対抗戦では、選手が7階級それぞれに出場して対戦し、勝利数によって勝敗を決す。同校は、選手のけがの影響で、1階級を欠く不利な状況での戦いとなった。それでも12回戦では、最重量126kg級の濱田浩暉選手(2年)が3勝3敗の場面から、2試合連続で白星を飾り、勝ち上がる立役者となった。ほか、決勝では、80kg級の川市竜之介選手(同)が、ライバルに

7日、同校レスリング部が八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、結果を報告した。学校対抗戦では、選手が7階級それぞれに出場して対戦し、勝利数によって勝敗を決す。同校は、選手のけがの影響で、1階級を欠く不利な状況での戦いとなった。それでも12回戦では、最重量126kg級の濱田浩暉選手(2年)が3勝3敗の場面から、2試合連続で白星を飾り、勝ち上がる立役者となった。ほか、決勝では、80kg級の川市竜之介選手(同)が、ライバルに

学校対抗戦で優勝した八戸学院光星高レスリング部の選手ら

学校対抗戦で優勝した八戸学院光星高レスリング部の選手ら